

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 福岡県バス対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
堀川バス株式会社	羽犬塚～ゆめタウン前～福島 ～黒木	「通学定期券補助事業」や交通系IC カード購入及び利用を学校や家庭へ呼 びかけ、チラシの配布を実施した。 沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中 高生の休日の利用呼びかけや、チラシ 配布を実施した。イベント時にバスの体 験乗車会を実施し、バス利用の呼びか けを行った。筑後広域公園で利用促進 のキャンペーンを実施し利用の呼びか けを行った。	A 計画通り適切に実施さ れた。	A 【目標】収支率31.6% 輸送人員65,668人 【実績】収支率36.3% 輸送人員89,871人 利用者が一部回復し収支率及び輸 送人員の目標を達成した。	引き続き、「通学定期券補助事業」、交 通系ICカードの利用や割引サービス等 HPやチラシ配布等での周知を図り、利 用促進の呼びかけを行う。乗合タク シーとの接続を図り利便性を高め、利 用促進の呼びかけを行う。バス体験乗 車会を実施し、バス利用の呼びかけを 行う。
堀川バス株式会社	羽犬塚～蒲原～黒木～柴庵	「通学定期券補助事業」や交通系IC カード購入及び利用を学校や家庭へ呼 びかけ、チラシの配布を実施した。 沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中 高生の休日の利用呼びかけや、チラシ 配布を実施した。イベント時にバスの体 験乗車会を実施し、バス利用の呼びか けを行った。筑後広域公園で利用促進 のキャンペーンを実施し利用の呼びか けを行った。	A 計画通り適切に実施さ れた。	B 【目標】収支率39.1% 輸送人員74,767人 【実績】収支率30.0% 輸送人員57,352人 利用者の減少、一部減便の影響、 経費の増加もあり、輸送人員、収支 率ともに目標を達成できなかった。	次年度は系統の変更もあり、羽犬塚～ 蒲原～黒木間が幹線系統となる。収支 率を改善させるべく引き続き、「通学定 期券補助事業」、交通系ICカードの利 用や割引サービス等HPやチラシ配布 等での周知を図り、利用促進の呼びか けを行う。乗合タクシーとの接続を図り 利便性を高め、利用促進の呼びかけを 行う。バス体験乗車会を実施し、バス利 用の呼びかけを行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
堀川バス株式会社	福島～鎌水・西鉄久留米～久留米駅	ICカード導入による利便性向上や1日乗車券、運転免許返納割引証の発行により利用促進のチラシを配布し、バス利用の呼びかけを行った。路線情報を掲載した公共交通マップを配布し、交通系ICカードの購入や利用の呼びかけを行った。	A	計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率55.3% 輸送人員50,525人 【実績】収支率53.5% 輸送人員53,446人 利用者が一部回復し、輸送人員の目標は達成したが、物価高騰等による経費の増加により収支率は目標を達成できなかった。	引き続き、交通系ICカードの導入や割引サービス等をHPやチラシ配布等で周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。
堀川バス株式会社	福島～田ノ原～十竜車庫前	「通学定期券補助事業」やICカード購入及び利用を学校や家庭へ呼びかけ、チラシの配布を実施した。 沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中高生の休日の利用呼びかけや、チラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行った。	A	計画通り適切に実施された。	B 【目標】収支率35.2% 輸送人員58,393人 【実績】収支率30.5% 輸送人員55,034人 利用者の減少、経費の増加により収支率及び輸送人員の目標を達成できなかった。	引き続き、「通学定期券補助事業」、交通系ICカードの利用や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。乗合タクシーとの接続を図り利便性を高め、利用促進の呼びかけを行う。バス体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行う。
堀川バス株式会社	瀬高駅前～西鉄柳川～亀の井ホテル柳川	柳川市及びみやま市のコミュニティバスに接続する幹線バスの周知を行った。沿線学校や住民に対し、バス利用の呼びかけを行った。バスの乗り方教室や無料バスの運行を実施し、路線バスを広く周知し、利用の呼びかけを行った。	A	計画通り適切に実施された。	A 【目標】収支率42.1% 輸送人員99,771人 【実績】収支率46.8% 輸送人員128,726人 インバウンドを始めとする観光客の増加により利用者が回復し収支率及び輸送人員の目標を達成した。	引き続き、交通系ICカードの導入や割引サービス等の情報についてHPやチラシ配布等で周知を図る。無料バスを実施しバス利用の機会を設けて利用促進の呼びかけを行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
昭和自動車(株)	前原～前原駅前・加布里～芥屋の運行 R6 車両購入なし	令和6年度においては路線の適正化に関する具体的な見直し等は実施できていないが、引き続き糸島市と協議を重ねていく。	A	概ね計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】収支率31.08% 輸送人員50,624人 【実績】収支率39.36%(昨年度比+1.63%) 輸送人員70,732人 利用人員は昨年度と比較して13,091人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が増加したものの、芥屋海水浴場や沿線の観光地への利用増加により、輸送人員が回復し運送収入が増えたことで目標収支率を達成することができた。	糸島市交通計画に基づき、利用実態に即した利用促進策やダイヤ改正を検討していく。また、現在販売しているデジタルチケットの普及活動も継続的に起こない、更なる利用者の増加を図っていく。
昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・初～船越の運行 R6 車両購入なし	令和6年度においては路線の適正化に関する具体的な見直し等は実施できていないが、引き続き糸島市と協議を重ねていく。	A	概ね計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】収支率18.84% 輸送人員26,667人 【実績】収支率23.91%(昨年度比+3.39%) 輸送人員33,604人 利用人員は昨年度と比較して2,983人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が増加したものの、沿線のカキ小屋への観光客輸送人員が回復し運送収入が増加したことにより目標収支率を達成することができた。	糸島市交通計画に基づき、利用実態に即した利用促進策やダイヤ改正を検討していく。また、現在販売しているデジタルチケットの普及活動も継続的に起こない、更なる利用者の増加を図っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・野北～ 伊都営業所の運行 R6 車両購入なし	令和6年度においては路線の適正化に 関する具体的な見直し等は実施できて いないが、引き続き糸島市と協議を重 ねていく。	A	概ね計画通り事業は 適切に実施された。	A 【目標】収支率18.69% 輸送人員23,372人 【実績】収支率18.99%(昨年度比- 0.93%) 輸送人員30,037人 利用人員は昨年度と比較して4,087 人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が 増加したものの、観光地として人気 のある糸島へ観光利用が増加し運 送収入が増えたことにより目標収支 率を達成することができた。	糸島市交通計画に基づき、利用実態に 即した利用促進策やダイヤ改正を検討 していく。また、現在販売しているディ タルチケットの普及活動も継続的に おこない、更なる利用者の増加を図 っていく。
昭和自動車(株)	前原駅北口～波多江～九大東 ゲートの運行 R6 車両2台購入	令和6年度においては路線の適正化に 関する具体的な見直し等は実施できて いないが、引き続き糸島市と協議を重 ねていく。	A	概ね計画通り事業は 適切に実施された。	A 【目標】収支率39.45% 輸送人員53,342人 【実績】収支率57.76%(昨年度比 +11.62%) 輸送人員96,035人 利用人員は昨年度と比較して6,297 人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が 増加したものの、路線沿線にマン ションや学生寮が建設され通学利用 が増え運送収入が増加したことによ り目標収支率を達成することができ た。	増加している通学利用者に対する利便 性の向上や細やかなダイヤの設定を行 い更なる利用者の増加を図っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
昭和自動車(株)	周船寺小学校～高田～九大東 ゲートの運行 R6 車両2台購入	令和6年度においては路線の適正化に 関する具体的な見直し等は実施できて いないが、引き続き糸島市と協議を重 ねていく。	A 概ね計画通り事業は 適切に実施された。	A 【目標】収支率43.30% 輸送人員53,679人 【実績】収支率57.76%(昨年度比 +7.82%) 輸送人員125,158人 利用人員は昨年度と比較して10,821 人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が 増加したものの、路線沿線にマン ションや学生寮が建設され通学利用 が増え運送収入が増加したことによ り目標収支率を達成することができ た。	増加している通学利用者に対する利便 性の向上や細やかなダイヤの設定を行 い更なる利用者の増加を図っていく。
西鉄バス佐賀(株)	JR久留米～久留米警察署～ 西鉄鳥栖	◇実施できたこと ・令和6年9月28日「バスの日イベント in鳥栖」を実施。 ・「こども50円バス」企画を実施した。※ 令和5年年末～令和6年年始、令和6年 春休み、G.W.、夏休み、その他の土日 祝日。 ・久留米市で作成した公共交通マップを 市への転入者へ配布を行った。また、 久留米BC窓口でお問い合わせのお客 さまに随時配布を行っている。 ・令和6年1月の毎週水曜日および日曜 日を対象に、佐賀県内のバス停で降車 する場合に限り、バス運賃が無料にな る「さがバスまるっとフリーDAY」を実 施。	A 事業が計画に位置づ けられたとおり、適切 に実施された。	A ◇目標(令和4年度実績) ・収支率: 令和4年度実績64.7%か ら収支改善1.0%以上を目標とする。 ・輸送人員: 令和4年度実績141,569 人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) 収支率69.17%(+4.47%) 輸送人員186,892人(+45,323人)	◇利用促進 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組み に参加し、令和6年10月(1ヵ月間限定) にスマホアプリ「my route」を活用した企 画乗車券「SAGA2024路線バスとくどく 24H乗車券」を発売した。 今後も、関係自治体と共に、利便性向 上に繋がる施策を実施していきたい。 ・鳥栖市と共に実施をしている「バス の日イベントin鳥栖」において、毎年鳥栖 市内で完結する路線のみを対象に無 料バスを行っているが、来年度以降、 本系統も無料バスの対象となるよう検 討を行う。 ◇その他 ・令和6年11月25日 基里小学校にてバ スの乗り方教室を実施した。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス佐賀(株)	鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米	◇実施できたこと ・令和6年9月28日「バスの日イベントin鳥栖」を実施。 ・「こども50円バス」企画を実施した。※令和5年年末～令和6年年始、令和6年春休み、G.W.、夏休み、その他の土日祝日。 ・久留米市で作成した公共交通マップを市への転入者へ配布を行った。また、久留米BC窓口でお問い合わせのお客様に随時配布を行っている。 ・令和6年1月の毎週水曜日および日曜日を対象に、佐賀県内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	◇目標(令和4年度実績) ・収支率: 令和4年度実績41.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。 ・輸送人員: 令和4年度実績75,787人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) ・収支率41.05%(△0.35%) ・輸送人員96,932人(+21,145人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和6年10月(1ヵ月間限定)にスマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「SAGA2024路線バスとくとく24H乗車券」を発売した。 ・今後も、関係自治体と共に、利便性向上に繋がる施策を実施していきたい。 ・鳥栖市と共に実施をしている「バスの日イベントin鳥栖」において、毎年鳥栖市内で完結する路線のみを対象に無料バスを行っているが、来年度以降、本系統も無料バスの対象となるよう検討を行う。 ◇その他 ・令和6年11月29日 麓小学校にてバスの乗り方教室を実施した。
西鉄バス佐賀(株)	佐賀第二合同庁舎～寄人橋～西鉄久留米	◇実施できたこと ・「こども50円バス」企画を実施した。※令和5年年末～令和6年年始、令和6年春休み、G.W.、夏休み、その他の土日祝日。 ・久留米市で作成した公共交通マップを市への転入者へ配布を行った。また、久留米BC窓口でお問い合わせのお客様に随時配布を行っている。 ・関係する自治体と協議を行い、令和5年10月1日に労働改善につながるダイヤ改正を実施した。 ・令和6年1月の毎週水曜日および日曜日を対象に、佐賀県内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	◇目標(令和4年度実績) ・収支率: 令和4年度実績52.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。 ・輸送人員: 令和4年度実績125,088人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率53.39%(+0.79%) - 輸送人員157,180人(+32,092人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和6年10月(1ヵ月間限定)にスマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「SAGA2024路線バスとくとく24H乗車券」を発売した。 ・今後も、関係自治体と共に、利便性向上に繋がる取り組みを実施していきたい。 ・佐賀県と共に、令和6年11月16日、17日に佐賀市内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「佐賀市内バス無料DAY」を実施した。今後も日頃バスを利用していないお客様がバスを利用するきっかけとなるような取り組みを行ってきたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス久留米(株)	佐賀第二合同庁舎～目達原～ 西鉄久留米	◇実施できたこと ・「こども50円バス」企画を実施した。※令和5年年末～令和6年年始、令和6年春休み、G.W.、夏休み、その他の土日祝日。 ・久留米市で作成した公共交通マップを市への転入者へ配布を行った。また、久留米BC窓口でお問い合わせのお客さまに随時配布を行っている。 ・西鉄バス公式X(旧Twitter)を活用し、沿線の催し情報の発信を行った。 ・令和6年1月の毎週水曜日および日曜日を対象に、佐賀県内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ◇目標(令和4年度実績) ・収支率: 令和4年度実績60.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。 ・輸送人員: 令和4年度実績137,926人以上を維持する。※ともに西鉄バス佐賀のみの実績 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率67.42%(+7.02%) - 輸送人員166,695人(+28,769人)	◇利用促進 ・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和6年10月(1ヵ月間限定)にスマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「SAGA2024路線バスとくどく24H乗車券」を発売した。今後も、関係自治体と共に、利便性向上に繋がる取り組みを実施していきたい。 ・佐賀県と共に、令和6年11月16日、17日に佐賀市内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「佐賀市内バス無料DAY」を実施した。今後も日頃バスを利用していないお客さまがバスを利用するきっかけとなるような取り組みを行っていきたい。
西鉄バス久留米(株)	早津江～布橋～西鉄柳川	◇実施できたこと ・R5年12月22日、23日の2日間、柳川市・みやま市連携でバス無料乗車イベントを実施。2日間で366名利用 ・MaaSの取組、my routeアプリを活用し「有明のりのりきっぷ」を発売した。 ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布を行った。 ◇実施できなかったこと ・商業施設でのチラシ配布	B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった ◇未実施理由 他の取組を優先的に実施した結果、商業施設でのチラシ配布を行うことができなかった。	A ◇目標(対: 令和4年度実績) ・収支率32.81%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員43,539人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率40.15%(7.34%改善) - 輸送人員70,588人(27,049人増加)	◇利用促進 ・令和6年11月22日、23日の2日間柳川市、みやま市連携でバス無料乗車イベント実施。2日間で427名利用(対前年+61名) - チラシ配布、Xでの事前周知を行った。路線バスにおいても観光需要獲得を図りたい。 参考) 路線バス沿線観光施設 御花 ◇その他 運行する大川支社は乗務員の高齢化が深刻。2025年2月1日に運賃改定を行い、待遇改善を図りさらなる採用強化に務めていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	大野島農協前～堤・水田天満宮 恋木神社～羽犬塚駅前	◇実施できたこと ・筑後市が「筑後市公共交通マップ」を作成。窓口での配布を行っている。 ・R5年12月2日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、こども運転士体験会など開催。参加者数約400名。 ・R5年9月21日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、昨年度から一部内容変更し、バス教室を実施。参加者数約400名。また、筑後市が主体となり公共交通アンケートを行った。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対: 令和4年度実績 ・収支率25.58%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員32,167人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績 収支率22.97%(4.98%悪化 輸送人員37,496人(5,329人増加 ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 大川市でのPR等が行えていないため、利用促進の連携を行いたい。昨年利用促進が行えていなかった大木町にて、令和6年11月10日に、さるこいフェスタに参加し、バスグッズ販売等によるバスファンづくりに務めた。これを機にさらなる公共交通利用促進を行いたい。 ◇利便性向上 JR線(羽犬塚駅)とバスの接続が一部できていないとの利用者からの意見があるため、ダイヤの見直しを検討したい。 ◇その他 運行する大川支社は乗務員の高齢化が深刻。2025年2月1日に運賃改定を行い、待遇改善を図りさらなる採用強化に務めたい。
西鉄バス久留米(株)	大川橋～下林・大善寺～JR久留米	◇実施できたこと ・路線バス車内に沿線イベント等のチラシを吊下げた。吊り下げのチラシについては最寄りバス停の記載を作成団体に依頼した。また、公共交通マップを西鉄バス各支社の窓口、および西鉄久留米バスセンター、定期券窓口を設置し、配布を行った。 ・R5年12月～R6年7月にかけて福岡県MaaSの取組で「久留米GoGoきっぷ」を発売。また、令和6年2月12日にJR久留米駅にてJRのりものパラダイスに参加。MaaS利用促進のため、イベント当日を含めた3連休に乗車券が100円で購入できる割引施策を実施し321枚を発売した。その結果、累計で575枚の発売に繋がった。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。 ・R5年11月、大川支社にて城島小学校バス教室を実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A ◇目標(対: 令和4年度実績 ・収支率39.03%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員88,258人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績 収支率40.47%(1.44%改善 輸送人員113,336人(25,078人増加	◇利便性向上 令和6年12月下旬に、運行する大川支社にてノンステップバスを1台導入。 ◇その他 運行する大川支社は乗務員の高齢化が深刻。2025年2月1日に運賃改定を行い、待遇改善を図りさらなる採用強化に努めたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	今村天主堂～北野～西鉄久留米	◇実施できたこと ・路線バス車内に沿線イベント等のチラシを吊下げた。吊り下げるチラシについては最寄りバス停の記載を作成団体に依頼した。また、公共交通マップを西鉄バス各支社の窓口、および西鉄久留米バスセンター、定期券窓口を設置し、配布を行った。 ・R5年12月～R6年7月にかけて福岡県MaaSの取組で「久留米GoGoきっぷ」を発売。また、令和6年2月12日にJR久留米駅にてJRのりものパラダイスに参加。MaaS利用促進のため、イベント当日を含めた3連休に乗車券が100円で購入できる割引施策を実施し321枚を発売した。その結果、累計で575枚の発売に繋がった。 ・R6年5月30日 障害者雇用支援センターにて(屋内型)バス教室を実施した。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対: 令和4年度実績) ・収支率49.78%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員46,164人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率50.42%(0.64%改善) - 輸送人員57,400人(11,236人増加) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 今年度、福岡県MaaSの取り組みに参加。自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo! きっぷ」「田主丸もぎもぎきっぷ」を発売。課題や反省点のブラッシュアップを行い、次回施策に取り組みたい。 ◇その他 今村天主堂が改修工事中。工事期間は2021年より8年～10年間で予定されている。
西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～JR久留米	◇実施できたこと ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布を行った。また、当路線の運行営業所である吉井営業所にて、令和5年12月にバス車内および吉井営業所待合所にクリスマス装飾を行い、バスの利用促進に努めた。 ・R5年12月～R6年7月にかけて福岡県MaaSの取組で「久留米GoGoきっぷ」を発売。また、令和6年2月12日にJR久留米駅にてJRのりものパラダイスに参加。MaaS利用促進のため、イベント当日を含めた3連休に乗車券が100円で購入できる割引施策を実施し321枚を発売した。その結果、累計で575枚の発売に繋がった。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C ◇目標(対: 令和4年度実績) ・収支率77.33%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員94,176人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率64.21%(13.12%悪化) - 輸送人員98,257人(4,081人増加) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進・復興支援 令和5年7月大雨の影響により、迂回運行を行い、竹野小学校前バス停通過、5分の遅延が発生していたが、令和5年11月24日より通常運行再開。 今年度、福岡県MaaSの取り組みに参加。自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「田主丸もぎもぎきっぷ」を復興支援策として発売。課題や反省点のブラッシュアップを行い、次回施策に取り組みたい。 ◇その他 運行する吉井支社は乗務員の採用が他のエリアと比較すると少ない。2025年2月1日に運賃改定を行い、待遇改善を図りさらなる採用強化に努めたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	JR久留米～久留米市役所～ 羽犬塚駅前	◇実施できたこと ・筑後市が「筑後市公共交通マップ」を作成。窓口での配布等を行っている。 ・R5年12月2日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、こども運転士体験会など開催。参加者数約400名。 ・R6年9月21日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、昨年度から一部内容変更し、バス教室を実施。参加者数約400名。また、筑後市が主となり公共交通アンケートを行った。 ・令和5年10月6日 西鉄バス久留米船小屋車庫において、筑後市水洗小学校児童が来営しバス教室を実施した。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績 ・収支率55.90%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員42,939人以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績 収支率56.46%(0.56%改善 輸送人員53,932人(10,993人増加 ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 今年度、福岡県MaaSの取り組みに参加。自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo! きっぷ」「田主丸もぎもぎきっぷ」を発売。課題や反省点のブラッシュアップを行い、次回施策に取り組みたい。 ◇その他 今年度も関係自治体の筑後市とバス営業所内でのバス教室を実施した。乗務員不足により出前授業は近年難しくなっているため、モデルケースの1つとして引き続き利用促進に取り組みたい。 また、R6年12月には新たに久留米市と連携し、バス営業所内でのバス教室を実施。モデルケースを生かすことができた。
西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～西鉄久留米	◇実施できたこと ・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布を行った。当路線の運行営業所である吉井営業所にて令和5年12月にバス車内および吉井営業所待合所にクリスマス装飾を行い、バスの利用促進に努めた。 ・R5年12月～R6年7月にかけて福岡県MaaSの取組で「久留米GoGoきっぷ」を発売。また、令和6年2月12日にJR久留米駅にてJRのりものパラダイスに参加。MaaS利用促進のため、イベント当日を含めた3連休に乗車券が100円で購入できる割引施策を実施し321枚を発売した。その結果、累計で575枚の発売に繋がった。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績 ・収支率40.14%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員39,793人以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績 収支率39.12%(7.10%悪化 輸送人員52,577人(12,784人増加 ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進・復興支援 令和5年7月大雨の影響により、迂回運行を行い、竹野小学校前バス停通過、5分の遅延が発生していたが、令和5年11月24日より通常運行再開。 今年度、福岡県MaaSの取り組みに参加。自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「田主丸もぎもぎきっぷ」を復興支援策として発売。課題や反省点のブラッシュアップを行い、次回施策に取り組みたい。 ◇その他 運行する吉井支社は乗務員の採用が他のエリアと比較すると少ない。2025年2月1日に運賃改定を行い、待遇改善を図りさらなる採用強化に努めていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス久留米(株)	筑後船小屋～筑後市役所～JR久留米	◇実施できたこと ・筑後市が「筑後市公共交通マップ」を作成。窓口での配布等を行っている。 ・R5年12月2日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、こども運転士体験会など開催。参加者数約400名。 ・R6年9月21日 ゆめマート筑後においてちっごのりものフェスタ開催。西鉄バス久留米、堀川バス、JR九州、タクシー2社が参加し、昨年度から一部内容変更し、バス教室を実施。参加者数約400名。また、筑後市が主となり公共交通アンケートを行った。 ・令和5年10月6日 西鉄バス久留米船小屋車庫において、筑後市水洗小学校児童が来営しバス教室を実施した。 ・令和6年3月23日以降、土日祝もこども50円バスを実施した。保護者同伴での利用も見受けられた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対: 令和4年度実績) ・収支率77.20%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員110,377人以上を維持する。 ◇実績(対: 令和4年度実績) - 収支率77.01%(0.19%悪化) - 輸送人員145,274人(34,897人増加) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 ・今年度、福岡県MaaSの取り組みに参加。自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo! きつぷ」「田主丸もぎもぎきつぷ」を発売。課題や反省点のブラッシュアップを行い、次回施策に取り組みたい。 ・令和7年度、ちっご祭は10月19日(日)に開催予定。引き続き、関係自治体と連携し、利用促進策を実施したい。 ◇その他 今年度も関係自治体の筑後市とバス営業所内でのバス教室を実施した。乗務員不足により出前授業は近年難しくなっているため、モデルケースの1つとして引き続き利用促進に取り組みたい。 また、R6年12月には新たに久留米市と連携し、バス営業所内でのバス教室を実施。モデルケースを生かすことができた。
西鉄バス筑豊(株)	新飯塚駅～飯塚・小竹上町～赤池工業団地	①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ②近隣の伏原地区の住民(200人)に対して利用を呼びかけ、バス利用者の増を図る。 ③こども50円バスを定期的 to 実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 49.22%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員80,247人以上 【実績】 ・収支率44.53%(▲5.69%) ・輸送人員85,131人(+4,857人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	直方～五反田・鞍手車庫～遠賀川駅	①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図る。 ②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。 ③出前講座における路線バスのPR ④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 29.79%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員71,047人以上 【実績】 ・収支率28.71%(▲2.08%) ・輸送人員79,040人(+7,993人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。
西鉄バス筑豊(株)	遠賀川駅～新入～直方	①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図る。 ②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。 ③出前講座における路線バスのPR ④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 26.10%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員37,536人以上 【実績】 ・収支率25.33%(▲1.77%) ・輸送人員41,363人(+3,827人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～漆生～飯塚	①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。 ②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ③沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対し、バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。 ④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行う。 ⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。 ⑥こども50円バスを定期的の実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。 ⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【効果目標】 ・収支率44.33 %から収支改善1.0%以上 ・輸送人員103,828人以上 【実績】 ・収支率45.45%(+0.12%) ・輸送人員129,053人(+25,225人)	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～桂川駅～飯塚	①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。 ②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ③定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。 ④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行う。 ⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。 ⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 47.49%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員38,228人以上 【実績】 ・収支率41.17%(▲7.32%) ・輸送人員39,406人(+1,178人) 輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前2019年度と比べると戻り切っていない。また、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 また、当路線の運行する飯塚市、嘉麻市等の人口も年々減少傾向にあるため今後もこのような状況が続くと考えられる。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	山野社宅～上三緒～飯塚	①沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対しバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。 ②市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。 ③公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ④普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。 ⑤こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。 ⑥定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 52.86%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員51,665人以上 【実績】 ・収支率49.91%(▲3.95%) ・輸送人員56,247人(+4,582人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。
西鉄バス筑豊(株)	上山田～上三緒～飯塚	①沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対しバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。 ②市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。 ③公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ④普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。 ⑤こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。 ⑥定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【効果目標】 ・収支率 70.46%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員102,057人以上 【実績】 ・収支率61.40%(▲10.06%) ・輸送人員104,932人(+2,875人) 輸送人員は増加傾向にあるが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	西鉄後藤寺～川崎～めんべい 添田町工場	①当該路線沿線の病院や学校に向けて、利用促進チラシの配布を行うことで、利用者の増を図る。また、イベント開催時に、路線バス・コミュニティバスを含めた周知を行い、利用者の増を図る。 ②沿線病院等への時刻表の配布と併せて、幹線と接続しているコミュニティバスの便について周知することでバス利用者の増を図る。 ③市広報紙等での利用啓発に向けたPR(田川市) ④こども50円バスを定期的 to 実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【効果目標】 ・収支率 40.38%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員60,380人以上 【実績】 ・収支率33.24%(▲8.14%) ・輸送人員61,192人(+812人) 輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前2019年度と比べると戻り切っていない。また、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 また、当路線の運行する田川市、川崎市、添田町の人口も年々減少傾向にあるため今後もこのような状況が続くと考えられる。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。
西鉄バス筑豊(株)	赤坂橋～有井～飯塚	①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ②こども50円バスを定期的 to 実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【効果目標】 ・収支率 62.81%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員38,743人以上 【実績】 ・収支率67.35%(+3.54%) ・輸送人員47,714人(+8,971人)	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス筑豊(株)	明治坑～飯塚～明星寺団地	①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。 ②こども50円バスを定期的 to 実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 68.69%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員117,478人以上 【実績】 ・収支率67.26%(▲2.43%) ・輸送人員133,487人(+16,009人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。
西鉄バス筑豊(株)	直方～引野口～黒崎	①市民を対象とした出前講演等において、公共交通の維持の重要性等を説明し、公共交通の利用促進を図る。 ②こども50円バスを定期的 to 実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【効果目標】 ・収支率65.00 %から収支改善1.0%以上 ・輸送人員128,669人以上 【実績】 ・収支率67.70%(+1.70%) ・輸送人員150,014人(+21,345人)	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。
西鉄バス筑豊(株)	宮田バス停～鞍手車庫～鞍手駅	①時刻表や路線を掲載したバスガイドを、沿線の病院や商業施設等に配布し、路線バス利用者の増を目指す。 ②定期的に開催するイベントとの提携(公共交通利用によるイベントへの参加の奨励など)、イベントでのチラシの配布。利用促進に向けた広報での周知。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【効果目標】 ・収支率 24.03%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員20,711人以上 【実績】 ・収支率23.91%(▲1.12%) ・輸送人員21,219人(+508人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(東郷駅～波止場・福岡海岸～光陽台六丁目)	・福津市が運行する「ふくつミニバス」との乗継施策を継続し、公共交通の効率化を図った。 ・路線上エリアにおいてバスの乗り方教室や沿線学校に定期券PRを実施するなど利用者増に取り組んだ。 ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 収支率58.2% 輸送人員74,025人 【実績】 収支率62.2% (+4.0%) 輸送人員 89,797人 (+15,772人)	沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、観光エリアを絡めた当該路線のPRを積極的に行い収支改善を図る。
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(東郷駅～宗像大社～神湊波止場)	・路線上エリアにおいてバスの乗り方教室や沿線学校に定期券PRを実施するなど利用者増に取り組んだ。 ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 収支率61.9% 輸送人員37,642人 【実績】 収支率69.6% (+9.7%) 輸送人員 64,056人 (+26,414人)	沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、観光エリアを絡めた当該路線のPRを積極的に行い収支改善を図る。
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～宗像コモン・東郷～東郷駅)	・路線上エリアにおいてバスの乗り方教室や沿線学校に定期券PRを実施するなど利用者増に取り組んだ。 ・「むなかた地域公共交通シンポジウム」にてブースを設け、PR活動を行った。 ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 収支率48.0% 輸送人員81,232人 【実績】 収支率50.6% (+3.0%) 輸送人員 99,241人 (+18,009人)	沿線利用者に対して、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス宗像(株)	津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～ ネオポリス・宗寿園～赤間営業 所)	・路線上エリアにおいてバスの乗り方教室や沿線学校に定期券PRを実施するなど利用者増に取り組んだ。 ・「むなかた地域公共交通シンポジウム」にてブースを設け、PR活動を行った。 ・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。	A 計画通り事業は適切 に 実施された。	B 【目標】収支率43.9% 輸送人員88,047人 【実績】収支率42.7% (▲1.2%) 輸送人員 95,968人 (+7,921人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	沿線利用者に対して、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	◇実施できたこと ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(5校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」販売延長(電子券) ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績) ・収支率25.1%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員22,063以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績) ・収支率26.06%(+0.96%) ・輸送量23,680人(+1,617人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成がなかった。	◇利用促進 福岡県Maasの取り組みとしてデジタル券(my route)へ移行した「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」を関係自治体の大牟田市・福岡県と連携し、更なるPRに努め利用促進を図る。 また、九州Maasの一環として作成した「島原連絡乗車券」デジタル券(my route)のPRを行い、バス利用者の拡大に努める。 ◇その他 令和6年度 大牟田市5校にてバス教室を実施した。 (令和6年10月・11月・12月)
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	◇実施できたこと ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(5校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」販売延長(電子券) ・デジタルスタンプラリーの実施 ・新大牟田駅での接続の見直し及び、新大牟田駅乗り入れ系統新設 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績) ・収支率37.3%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員99,726以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績) ・収支率36.05%(△1.25%) ・輸送量104,359人(+4,633人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成がなかった。	◇利用促進 福岡県Maasの取り組みとしてデジタル券(my route)へ移行した「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」を関係自治体の大牟田市・福岡県と連携し、更なるPRに努め利用促進を図る。 また、九州Maasの一環として作成した「島原連絡乗車券」デジタル券(my route)のPRを行い、バス利用者の拡大に努める。 ◇その他 令和6年度 大牟田市5校にてバス教室を実施した。 (令和6年10月・11月・12月)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団地	◇実施できたこと ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(5校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」販売延長(電子券) ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績) ・収支率64.1%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員97,454以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績) ・収支率64.47%(+0.37%) ・輸送量104,834人(+7,380人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 福岡県Maasの取り組みとしてデジタル券(my route)へ移行した「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」を関係自治体の大牟田市・福岡県と連携し、更なるPRに努め利用促進を図る。 また、九州Maasの一環として作成した「島原連絡乗車券」デジタル券(my route)のPRを行い、バス利用者の拡大に努める。 ◇その他 令和6年度 大牟田市内5校にてバス教室を実施した。 (令和6年10月.11月.12月)
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	◇実施できたこと ・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施 ・バス教室の実施(5校) ・イベント及びバス教室でのチラシ配布 ・「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」販売延長(電子券) ・デジタルスタンプラリーの実施 ・利用促進事業の実施 ・子ども50円バス、子ども無料バスの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ◇目標(対:令和4年度実績) ・収支率68.1%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員97,996以上を維持する。 ◇実績(対:令和4年度実績) ・収支率68.88%(+0.78%) ・輸送量109,192人(+11,196人) ◇達成できなかった理由 利用状況は回復傾向にあるが、人件費・燃油費の高騰に加え、資材やメンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、収入の増加よりも、費用の増加が上回ったため、目標達成ができなかった。	◇利用促進 福岡県Maasの取り組みとしてデジタル券(my route)へ移行した「おおむた1日乗り放題バスきっぷ」を関係自治体の大牟田市・福岡県と連携し、更なるPRに努め利用促進を図る。 また、九州Maasの一環として作成した「島原連絡乗車券」デジタル券(my route)のPRを行い、バス利用者の拡大に努める。 ◇その他 令和6年度 大牟田市内5校にてバス教室を実施した。 (令和6年10月.11月.12月)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス北九州(株)	香月営業所～鳥森・JR中間駅 ～筑鉄中間の運行	・中間市庁舎に時刻表を設置するとともに、HPに当該路線を利用していくことができるイベントの案内を行った。(中間市) ・公共交通の維持の重要性を説明する出前講演を行った。(北九州市) ・子どもが50円、または無料で乗車できる期間を設け、将来を見据えた新規ユーザー獲得に努めた。(西鉄バス北九州) ・長期的な路線維持を見据えた、運行規模やダイヤ改定及び検討会を実施した。(中間市・西鉄バス北九州) ・公共交通機関利用機会創出のため1日無料デーを実施し、新規ユーザーの獲得に努めた。(北九州市・中間市・西鉄バス北九州)	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 収支率35.1% 輸送人員35,829人 【実績】 収支率35.9%(+0.8%) 輸送人員39,405人 収支率については、待遇改善および軽油単価の高止まりによる費用増があったが、運賃改定の効果及び利用者の増加もあり目標を達成できた。 輸送人員についても、目標を大きく上回った。	・引き続きモビリティマネジメント(バスの乗り方講習会等)を実施し、利用促進および新規ユーザー獲得を図る。 ・引き続き香月営業所周辺での各種イベントと併せて当該路線の利便性を中間市HPでPRし、利用促進を図る。 ・長期的に運行を維持するため、事業者及び関係機関による運行規模の見直しや、沿線の学校へのヒアリングを含めたダイヤ改定の検討・協議を継続きおこなう。
西鉄バス北九州(株)	行橋営業所～九州労災病院の 運行 車両購入2台	・JR行橋駅へ直通していることやJR特急乗継および子ども50円バスに合わせたPRを、SNSで行った。(行橋市・苅田町・西鉄バス北九州) ・公共交通の維持の重要性を説明する出前講演を行った。(北九州市) ・子どもが50円、または無料で乗車できる期間を設け、そのタイミングに合わせて小学校へチラシを配布し利用のお願いをするとともにPRをSNSで行った。(苅田町・西鉄バス北九州) ・バスの日に合わせ、ゆめタウン行橋において利用促進チラシとグッズの配布を行った。また、路線沿線の主要施設一覧をHPに掲載した(行橋市) ・公共交通の利用促進実験として、市内在住の高齢者を対象に市内のバス・タクシーで利用できる交通券5,000円分を3,000円で販売した。(行橋市) ・公共交通機関利用機会創出のため1日無料デーを実施し、新規ユーザーの獲得に努めた。(北九州市・苅田町・行橋市・西鉄バス北九州)	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 収支率32.5% 80,164人 【実績】 収支率29.1%(-2.6%) 74,320人 収支率については、運賃改定を実施し増収効果があった一方、待遇改善、燃料価格高騰等の理由により目標の32.5%を下回る結果となった。輸送人員については、運賃改定を理由とした利用減少が想定を上回り目標を達成できなかった。	・引き続きJR行橋駅や九州労災病院でのチラシ配布や、関係機関HPやSNSでPRを行い、当該路線の認知度向上を図る。 ・関係機関による長期的な路線維持を見据えたダイヤの検討、他交通網との接続の見直しを行う。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス二日市(株)	【星ヶ丘線】西鉄二日市駅東口 ～太宰府高校入口	・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に 実施された。	B 【目標】 ・収支率 77.9%以上 ・輸送人員 275,437人以上 【実績】 ・収支率 73.5%(△4.4%) ・輸送人員 160,913人 (△114,524人) 終点を短縮したことや、運賃改定を実施したことにより、収支率(前回73.1%)は改善したが、人件費など各種費用の高騰があり、目標達成に至らなかった。	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【宇美～太宰府線】太宰府市役所前～上宇美～宇美営業所	・こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシを配布するなど利用促進を図った。	A	計画通り事業は適切に 実施された。	A 【目標】 ・収支率 44.3%以上 ・輸送人員 77,334人以上 【実績】 ・収支率 44.7%(+0.4%) ・輸送人員 88,958人 (+11,624人)	・更なる利用者増に向けてJR宇美駅へ乗り入れ、JR香椎線との乗り継ぎ案内を関係自治体と連携して実施する。
西鉄バス二日市(株)	【南ヶ丘線】月の浦営業所～下大利駅・天拝～西鉄二日市	・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。	A	計画通り事業は適切に 実施された。	A 【目標】 ・収支率 81.7%以上 ・輸送人員 114,375人以上 【実績】 ・収支率 105.3%(+23.6%) ・輸送人員 151,437人 (+37,062人)	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西鉄バス二日市(株)	【南ヶ丘線】西鉄二日市～天拝坂・下大利駅～月の浦営業所	・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 ・収支率 71.2%以上 ・輸送人員 104,529人以上 【実績】 ・収支率 92.1%(+20.9%) ・輸送人員 131,246人(+26,717人)	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【つつじヶ丘線】南山手団地～下大利駅～南山手団地	・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 ・収支率 80.7%以上 ・輸送人員 268,752人以上 【実績】 ・収支率 92.8%(+12.1%) ・輸送人員 296,511人(+27,759人)	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【二日市線】太宰府～吉木入口～西鉄二日市	・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 【目標】 ・収支率 72.5%以上 ・輸送人員 102,904人以上 【実績】 ・収支率 69.1%(△3.4%) ・輸送人員 117,016人(+14,112人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。
西鉄バス二日市(株)	【二日市線】原営業所前～吉木入口・吉木～西鉄二日市	・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。 ・収支改善策として運賃改定を実施した。 ・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。 ・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 ・収支率 62.1%以上 ・輸送人員 92,328人以上 【実績】 ・収支率 64.5%(+2.4%) ・輸送人員 111,329人(+19,001人)	・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
JR九州バス(株)	山の神～久山～博多の運行 R5年R6年 車両購入1台/年	バス運賃の見直し(運賃改定)を令和6年4月1日に実施し、平均改定率14%程度引き上げ、初乗運賃も170円から210円に値上げし、収支改善に努めた。 路線沿線自治体のイベント(福岡県のりものフェス、箱フェス、ふくほくフェスタ、へいちくフェスタ)に参加し、バス展示やバスグッズの販売や、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシ配布を実施し、バスに慣れ親しんでもらい、ご利用になる動機付けとして、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】収支率54.7% 輸送人員76,852人 【実績】収支率50.7% (-4.7%) 輸送人員77,943人 1,091人増加 ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。
JR九州バス(株)	直方～鞍手高校前～博多の運行 R5年R6年 車両購入1台/年	バス運賃の見直し(運賃改定)を令和6年4月1日に実施し、平均改定率14%程度引き上げ、初乗運賃も170円から210円に値上げし、収支改善に努めた。 路線沿線自治体のイベント(福岡県のりものフェス、箱フェス、ふくほくフェスタ、へいちくフェスタ)に参加し、バス展示やバスグッズの販売や、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシ配布を実施し、バスに慣れ親しんでもらい、ご利用になる動機付けとして、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】収支率42.8% 輸送人員150,663人 【実績】収支率45.6% (3.2%) 輸送人員215,822人 65,159人増加 ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。
JR九州バス(株)	直方～鞍手高校前～福丸の運行 R5年R6年 車両購入1台/年	バス運賃の見直し(運賃改定)を令和6年4月1日に実施し、平均改定率14%程度引き上げ、初乗運賃も170円から210円に値上げし、収支改善に努めた。 路線沿線自治体のイベント(福岡県のりものフェス、箱フェス、ふくほくフェスタ、へいちくフェスタ)に参加し、バス展示やバスグッズの販売や、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシ配布を実施し、バスに慣れ親しんでもらい、ご利用になる動機付けとして、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】収支率74.3% 輸送人員112,279人 【実績】収支率56.3% (-18.0%) 輸送人員81,183人 31096人下回った ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
JR九州バス(株)	添田駅～日田駅の運行	BRT紹介パンフレットを作成し、JR九州グループの各駅、拠点等にて配布した。 また、沿線の道の駅等各施設や、沿線自治体様を通じた公共施設、住民への生活拠点等への配付を実施。 また、沿線自治体様と連携のうえ、広報誌等においてもダイヤ改正の告知を行うことで利便性向上PRに取り組んだ。 2024年9月から11月にかけて、添田町、東峰村、日田市を対象としたJR九州フリーウォーキングコースを3コース設定(各市町村1コースずつ)合計でおよそ600人の参加を頂くなど好評をいただく。 BRTの利用促進、沿線の魅力発信につながる取り組みとなった。 福岡県、添田町、東峰村、日田市の沿線各市町村と沿線飲食店さまとの官民一体型でのMaaSデジタルチケットを発売。1,400枚を超える発売実績。 2024年3月には日田市の参画などリニューアルを実施するなど磨き上げを行うなど、地域の皆様とともに、BRTの利用促進に向けた取り組みを実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】収支率17.7% 輸送人員110,000人 【実績】収支率13.4% (-4.3%) 輸送人員55,943人 54,057人下回った ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。	引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。

※車両については、R5年度収支率52.4%、R5年度収支率50.9%で燃料高騰等で費用が増加し、前年比-1.5%で目標を達成できなかった。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社 甘木観光バス	田主丸線 甘鉄甘木駅～朝倉医師会病院 /小田～田主丸中央病院 ・車両更新 1台納車(R6/8)	・令和5年4月から12:00～17:00の(利用客が減少する)時間帯の運行回数を2往復、減便した。又運行ダイヤも地元高等学校の要望に合うように、改定した。 ・上記より、乗降調査、定期券購入時、窓口で田主丸線運行ダイヤに対するご意見、要望を参考に今後の参考にする。	A ・計画通り事業は適切に実施された。 ・今年8月ノンステップ車両を更新した。	A 【目標】 ・収支率 23.78%以上 ・輸送人数 61,108人以上 【実績】 ・収支率 24.12% ・輸送人数 62,952人 ※収支率、輸送人数、共に目標を達成した。	・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民へ働きかける。営業窓口での対応時、QRコード付ティッシュをくばる。 ・現在、運賃は現金、回数券、定期券が現行であり、電子化には、予算の問題が課題。